



牧 建 第 1 5 号
平成 1 9 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

静岡県牧之原市長 西原 茂樹



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

このことについて、平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼がありましたので別紙のとおり回答します。

牧之原市建設部建設課
管理係 担当：八 木
TEL：0548-53-2627

意見書

牧之原市は、静岡県南西部駿河湾の西岸に位置し、温暖な気候に恵まれ、荒茶生産では日本一を誇る農林水産業と、近年の企業進出によってものづくり産業の集積地域にも変貌してきており、今後富士山静岡空港などを生かした地域づくりを進め、志太榛原・中東遠地域の広域的連携の中で発展が期待されている地域であります。

その発展の礎には、多くの国や県、さらに先人のご努力がありました。特に、社会資本であります開発型インターでは日本初の東名相良牧之原インターチェンジの完成や関連する白井工業団地も完売し、それを縦軸で結ぶ地域高規格道路・金谷御前崎連絡道路の一般国道150号バイパス及び一般国道473号バイパスの整備も進み平成19年秋頃に開通の運びとなりました。

また、御前崎港のマックス14メートル岸壁の整備など物流の効率が格段に向上したことにより、スズキ(株)相良工場の小型車の組み立て工場の増設が決まり、これらのことが大きなうねりをこの地域にもたらしております。

懸案でありました地域高規格道路・金谷御前崎連絡道路の相良バイパス(西萩間ICから牧之原IC)も本年3月30日に整備区間に格上げされて、21年度の開通を目指し事業着手の運びとなりました。今後、未開通部分の地域高規格道路・金谷御前崎連絡道路の一般国道1号への接続、そして、新東名高速道路へ接続されますと静岡県西部地域からの物流も活発に展開されるようになります。

これまでのバイパスへの投資額は、約620億円であります。

平成20年秋から操業が始まりますスズキ(株)の小型自動車の生産は、年間26万台を予定しており生産出荷額は、約3,000億円となり、これに関連会社の生産出荷額を考慮いたしますと、志太榛原・中東遠地域をはじめ牧之原市にとりましても経済発展に非常に大きな効果となります。

これもひとえに社会資本の整備の賜と国土交通省の皆様方に心より

深く感謝申し上げます。

富士山静岡空港も21年春の開港を迎えるばかりとなり、陸海空のそろった都市圏となり明るい未来の展望が広がります。

夢はさらに広がります。建設が進む三遠南信自動車道の整備により、長野県飯田市から2時間30分で御前崎港と結ばれることになり、長野県からの物流も可能となります。

一方、課題もあります。

横軸であります一般国道150号バイパス整備の進捗であります。特にその中でも吉田町から牧之原市大沢IC区間の早期事業着手が今後の牧之原市として一番の重要課題であります。

また、市民が安心して暮らすことが出来るように老朽化した橋梁及び舗装の維持修繕事業も急務であります。市の財政も大変厳しい状況にある中、維持修繕事業が国の交付金対象になるようお願い致します。

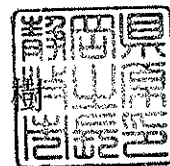
牧之原市は、市総合計画基本構想にある、市民一丸となって、ふれあいビタミンあいのまち、うみ・そら・みどりと共に生きる「幸福実現都市」を目指しています。

静岡市と浜松市の両政令市には含まれた志太榛原・中東遠地域にあって、富士山静岡空港と御前崎港を配し産業物流の結節点として重要な位置づけとなる牧之原市が、その理念の下に発展していくためには、更なる道路整備の充実は必要不可欠であります。

ご理解いただきまして、国土交通省の更なるご助力とご支援をお願い申し上げます。

平成19年 5月 7日

静岡県牧之原市長 西原 茂



榛南地区主要道图



相良バイパス

150号バイパス



凡例

- 計画道路(供用区間)
- 計画道路(施工中)
- 計画道路(供用中)
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 東名高速道路